

## 第7回総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和4年6月10日(金)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時28分
出 席 者	委員長 山岸 三男 副委員長 佐野 善弘 委員 赤坂 芳則 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 前原 吉宏 議長 鈴木 宏通
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 佐藤 理子
協 議 事 項	1) 提言の検証に関する担当課からの回答について 2) 所管事務調査について
そ の 他	
閉 会	午前11時26分

2号様式 協議の経過

<p>山岸委員長</p>	<p>皆さん、おはようございます。第7回総務、産業、建設常任委員会をただ今から開催いたします。まず今日はですね、前回の6回の会議の中で町に私たちが提言した検証に対する担当課からの回答ということで皆さんの手元に配付されております。それから、所管事務調査についての内容を委員長と副委員長で選定した候補地の資料を皆さんの手元に配付しております。そのほかのことについて、あとから委員長の私のほうから常任委員会あるいは議会でいろんな行事があるので、その説明もさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは早速、常任委員会を開始します。</p> <p>本日は全員6名そろっておりますので会議は成立しております。なお、議長も出席されております。以上です。それでは始めます。</p> <p>まず、会議事項の1)の提言の検証に関する担当課からの回答についてということで、皆さんの手元にまちづくり推進課のほうから回答書が寄せられております。一旦休憩して、皆さん黙読していただきたいと思っております。</p> <p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午前9時30分 再開 午前9時40分</p>
<p>山岸委員長</p>	<p>再開をいたします。</p> <p>皆さん読んでいただいたと思いますが、これらについて私たちが再度質問したことに対する回答が出てますけども、このことで項目ごとにそれぞれ皆さんからいろいろご意見いただいて、それを私たちのこの常任委員会での進め方について参考にしていきたいと思っておりますので。</p> <p>まず、第1問の1)の質問から私が読み上げますので、そこから皆さんからご意見をいただきたいと思っております。まず最初、1枚めくっていただいて、情報の収集及び発信に努めるとありますが、具体的な内容を伺います、に対して。</p> <p>(「こいつは、こっちも質問だっちゃ」の声あり)</p> <p>これも回答1、2と関連。そっか、すみません。最初の表紙のほうのね。質問1)、2)。これに対して関連があるということで、回答されてますので、まず、まちづくり推進課で作成した移住のパンフレットは、町の自然や環境、施策、子育て支援等の情報は掲載しているものの、情報が少なく、他市町村に比べて見劣りする内容となっていることから、魅力的なものになるよう修正が必要と感じております、という答えですね。また、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインの移住イベントが主流となり、パンフレットの配布を行っていないため、イベント参加者からのご指摘やご意見はありません。現在、移住のパンフレットについては、更新できていない状況ですが、今後、地域おこし協力隊の隊員の協力も得ながら、本町の魅力をPRできる移住促進の新たなパンフレット等の作成にも取り組みたいと考えております。その他に、産業振興課と美里町物産観光協会が作成している「宮城県美里町まるごとガイド」や令和2年度に宮城大学の協力により作成した「宮城県美里町協働のまちづくり活動事例集」なども活用して町をPRしていく考えです、という。</p>

	<p>それから2枚目、めくっていただいて、②人材交流の起点として人と人のつながりによる情報の収集、発信等を定住促進に生かしていく、に対しては、町への移住、定住につながる各種情報の収集及び発信については、定住化促進施策を進めるうえで重要なものと認識しており、これまでも、各分野において可能な範囲で行っている。引き続き、情報の収集及び発信に努める、と回答しております。</p> <p>（「これは令和2年の回答」の声あり）</p> <p>これは、令和2年のやつね。質問1）ね。「情報の収集及び発信に努める」とありますが、具体的な内容を伺います、と。オンラインの移住イベントにおいて、参加者から相談や質問を受けた内容は、子育て制度、定住促進補助金、仙台市へのアクセスなどについてが多かったことから、この点についてアピールできるよう情報発信に努めております、という回答でございます。この部分ずつにやっていきますかね。全部やると長くなる。</p> <p>今、町のほうからの回答で、それぞれ皆さんからいろいろご意見いただきたいと思います。どうぞ、手を挙げて発言をお願いします。</p> <p>赤坂委員。</p>
赤坂委員	<p>皆さん大人しいようだから、私口火切って。だから、ここに今最初の質問に対する回答の部分というのは、パンフレット等については更新できてないということが結論なんだよね。だから、その辺は急いで作る。そしていろんなアピールの方法も何がいいか。ポスターがいいか、チラシがいいか、あるいはオンラインがいいんだかわかんないけどね。その辺は早急に手を付けてもらう必要があるんじゃないかと思うのね。それであとの今日2番目の視察先の資料の中に、今朝ちょっとネットで見てきたのね。臼杵市のやつがあって、臼杵市のそいつで見られる。</p> <p>（「はい、見られます」の声あり）</p> <p>そこに臼杵市の移住、定住促進ポスター、移住ガイドブック、完成しましたってあって、こういういろんなやつをやってみたいなのね。だから、1種類とは限んないとは思っただけっとも、そういうのを具体化しないと全然やっていることになんないのね。検討しますじゃ、だめなのさ。いつになっても検討だもの。さっぱり先に進めねってことになっからね。その辺の具体化を早く進めるように担当のほうにはお話をする必要がありますと思います。</p>
山岸委員長	<p>確かにPRしていく考えですとか、検討していきますという、毎回何か同じような答えが出てくるんですけど、私も読んでこういうふうに取り組みをしていきたいという具体性が非常に欠けてるという、進め方としては非常に消極的だなという印象を持っていますから。今、赤坂委員おっしゃったように、このパンフレット等の修正だとか、更新だとか、これはやっぱり例えば2年とか3年に1回は、新しいものに更新したりする必要があると思うんですよ。それで、この部分の回答が来てるんですけど、この項目については、あと皆さんから意見聞きますけども。今赤坂委員が言われた意見、私はもっともだと思うんですけど、特にあとありませんか。前原委員、どうですか。</p>
前原委員	<p>はい、私から、じゃ。もっともだと思うんです、言ってることは。ただ、我々</p>

	<p>がやろうとしているのは、今まちづくり推進課でやっている部分に対して提案または改善点をこちらのほうで、弱いところを探して言及するわけですね。今言っていたのは、そのとおりでと思うんですよ。一つの弱い点ですよという、そういうまとめで私はいいいのかなと思います。</p>
山岸委員長	<p>今、前原委員からはまとめとして弱い部分を強調していくとか、もう少し積極的に進めていくとか、そういうふうな提案をする必要があるんだろうなと、そんなふうなご意見ございました。あとほかに。 前原委員。</p>
前原委員	<p>研修の目的として今言ったのが一つですよ、というまとめ方でいいのかなと私は思います。委員長の進め方ですけどね。</p>
山岸委員長	<p>研修の目的としてそういうことも、先進地はそういうことを既にやっていますからね。 藤田委員、どうぞ。</p>
藤田委員	<p>いろいろ回答は検討します、勤めてまいりますと大変結構な答えだと思うんですけど、わが町のアピール、情報発信をどういう形でもっと強く、鉄道の町、要衝ですから仙台とのアクセス、そして一番先に子育て、あと3つここに挙がってますよね。この辺にもっと力点を置いて、情報や宣伝、コマーシャルね、これを引き付けるような、もっと強いというかわかりやすく、行ってみたいと目に付くようなそういうものにもっと取り組むべきだと文章を見てね、足りない部分はそこじゃないかと。よその町では既に、臼杵市などもどんどん前に進んでやってる。そのあとには体制づくりも抱えているとここにきてますからね。各課連携じゃなくて、専門的な組織体制を考えなくてはならないとまで答えを出しているわけですから、思い切って今取り組むべき課題を絞って、町の良さをアピールできるような宣伝をとにかくいち早く取り組むべきだと私はこれを読んで感じましたのでね。その辺、これから臼杵市なりどこなり、どこに行くかわかりませんが、よその町をよく見て来ようというふうに思いました。なかなか答えはみな同じだからね。この町に合った定住できる、子育ても全部完備されて、鉄道アクセスもいいじゃないですか。強くアピールできる宣伝をするべきだなと私は感じたんです。</p>
山岸委員長	<p>わかりました。確かに美里町は何十年前から鉄道 100 年据えているんですね。とにかく、交通の要衝、交通の要衝と言いながらもそれをもう少し私生かし切れていないんじゃないか、アピールの仕方が薄いんじゃないかなという気がしてますけどもね。佐野副委員長は、何かありましたら。</p>
佐野副委員長	<p>あと一つの検討、進むんじゃないかと考えられるのが、今年の4月から協力隊というのがこの辺のPRということで、少し以前より前に進むのではないかと期待もございます。そのアピールは2つ目の質問の移住イベントで質問が多かった子育て制度とか定住促進補助金とか仙台へのアクセスとか、この辺を今はそれなりの内容はあるんですけども、それが果たして参加者のほうからもっと移住してみようかなというふうな施策がもっともとと取れるように、その辺を今後視察とかしてですね、研修して提言していったらいいんじゃないかなと思ってます。以上でございます。</p>

山岸委員長	<p>今、委員全員から意見はいただきましたが、ここでちょっと休憩して議長が来てますので、議長からもいろいろ意見を聞きたいと思います。</p> <p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午前9時54分</p> <p>再開 午前9時57分</p>
山岸委員長	<p>再開します。</p> <p>今、1回目の質問のことについて皆さんからご意見をいただきました。それぞれの委員からいい内容でこうすべき、ああすべき、もっとこうしたらいいんだという内容が出てきましたので、まず1)、2)の質問に対して、これを一番最初に赤坂委員が言ってくれましたパンフレットの作成、更新もしていない。これを私も先ほど申し上げたように、例えば3年に1回とか、短くともやっぱり3年でしょね。</p> <p>(「3年では長いでば」の声あり)</p> <p>3年ではやっぱり長いですかね。</p> <p>(「長くたって2年だよ」「毎年しねげねえのさ」の声あり)</p> <p>本来はね。インターネットのこういうテレビ発信するんだら毎月更新していかないと本来だめみたいなんだね。</p> <p>(「インターネットとは毎日更新だから」の声あり)</p> <p>町民の方からもそれかなり指摘された部分あるんですよ。何年も前から同じ項目、全然更新してないとかという、そういう意見も来てますからね。そういうことも含めて、情報というのはどんどんと更新していかないと正しい情報が伝わらないと思いますんで。</p> <p>まず1つは、今の1)、2)に関しては、パンフレットだとか、そういうものを速やかに更新していく、そういう提案というか、1)、2)についてはまとめていきたいと思いますけど。</p>
赤坂委員	<p>その前のことなのでよくわからなかったけども、第5回の委員会の資料を今見たら、この検討内容の回答については令和2年なんですよ。今、令和4年ですから、令和2年の段階でいろんな回答が考えております、そういう考えです、努めます、努めております、という回答だけなのさ。実はやってねってことなのさ。何いつまで何してんだって少し強気に言っていかないとだめじゃないかと。これ担当課の問題じゃなく、町本分だからやっぱり町長の問題だかもしんないけどさ。考えておりますとか、検討しますっていうのはさっぱり進んでいねってことなの。だから、進歩はっばしねってことなの。やっぱり、具体化を急がせるということだよ。</p>
山岸委員長	<p>そうですね。今言ったように(1)については、パンフレットとか情報発信を速やかに更新していく。あと、ここに取り組みたいと考えておりますっていうんだけど、実際は今赤坂委員言ったように、實際上、取り組んでいない部分、進んでいない部分がかかなりこの回答にも出てますよね。これらを速やかに進める必要があるとか、そういう提案をしていくことが私たちの常任委員会としては必要じゃないかと思っておりますので。(1)については、具体的な取組を進められたいとか、あるいは具体的な内容を検討してくださいと。我々</p>

	<p>が検討してくださいって言うのはどうなのかなと思うんですけども。そういう内容でもかく、パンフレット、情報の収集を速やかに更新していく、新しいものを作っていくと。そういう発信をしてくださいという内容で進めるといことでよろしいですか。</p> <p>前原委員。</p>
前原委員	<p>結論ではなくて、調査、研修の課題を今拾っているわけですよ、中身の部分。なので、それは結論じゃなくて、町のPRパンフレットを更新するにあたって、もっとどういうふうにしたらいかと。それをこの委員会の中で研究したらいいんじゃないかと。それを提案したらどうかと私は思います。</p>
山岸委員長	<p>もちろん私たち、この先進地の研修する目的もあって、今回町のほうの提案に対して検証して、その内容を踏まえて先進地を研修するという目的がありましたので。ただ、私たち受け止め方としては、皆さんからご意見いただいているとおりに、どうも進め方がかなり消極的であると。各課連携するけども、それもなかなか連携が進んでいないという実態が回答で出てきましたので、それらを私たち踏まえて研修先でどういう連携をしているのかとか、どういう更新とかを進めているのかを研修してきたい、そんなふうに思いますので。この部分については、私たちの研修先の質問事項にも入ってくるんだらうなと思うんですけども、その辺も含めてよろしいです、こういう町の移住、定住に関するパンフレットの作成だとか、更新はどのようにされているのか、そういう方向なのか。今インターネットで調べれば、大体内容はわかるんですけども。一応行く先の質問内容というのは事前に相手の市町村に送っておく必要があるんでね。よろしいですか、この1)、2)についてのまとめ方としては。</p> <p>前原委員が言う研修するための検証でもあるわけだからということなんだけども。前原委員、そのような進め方でいいですか。</p>
前原委員	<p>やり方を伝えただけで、あとはまとめてやっていくのは委員長。</p>
山岸委員長	<p>じゃなくて、そういう方向で進めてよろしいですかってことを聞いてんの。よければ、一定のこちらでまとめますから。</p> <p>(「よろしいですよ、進めてください」の声あり)</p> <p>じゃ、検証の(1)はこれで終わります。</p> <p>次の別の質問です。現状の対応件数はどうなっていますか、ってことに対しての回答が、皆さんお読みになってますけども、移住イベントはって、これは令和2年のやつだね。イベントは2回開催して7市町村で12人、令和2年度ですからね。3年度でも12人の参加と3人の移住相談。かなり少ない人数ではあんだけど、一応参加者はいるんだってことなんだけども。本町独自でやっているわけではないんですよ。仙北7市町村でのイベントでは12人、県内35市町村では3人。</p>
赤坂委員	<p>こいつ、イベントというのは誰か見てる。</p>
山岸委員長	<p>このイベント、ちょっとわからないんだけど。</p>
藤田委員	<p>どいなものしたかわかんねえな。</p>
赤坂委員	<p>わからねんでは、検討しようねえっちゃや。</p>

山岸委員長	移住イベント、オンラインで2回開催してるってことだね。
赤坂委員	オンラインでどいなことやったかさ。遡って見られんのかな。令和2年度のオンラインの移住イベントというの見える。
山岸委員長	毎年度、これ2年度も3年度もやってるんだね。
赤坂委員	どいなことしてんのか。
山岸委員長	ちょっと、すぐ見られます。 （「はい。今、調べています」の声あり） 今、見てます。
藤田委員	直近のやつ、3年度でいいんでね。
赤坂委員	内容、何やったんだか。どういうんだか。
山岸委員長	ここだね。11月4日だ。ふるさと回帰支援センター。
佐野副委員長	有楽町だっちゃ、有楽町。
山岸委員長	オンラインは東京のあれかな。 （「交通会館」の声あり） 会館でオンラインでやっているってことだね。
赤坂委員	ここさ、仙北7市町村のイベント、それから宮城県内35市町村のイベントって書いてあつたら、こっちはこっちで単独でやったんだか。東京でやったやつは、県北はこれくらい参加しましたっていうんだか、そこがわがねのね。 （「これは宮城県内のやつです」の声あり）
藤田委員	これは3人しか行かねんじゃねえの。 （「こちらは3人です」の声あり） 仙北は12人。ここに書いてあんのそうだっちゃ。
赤坂委員	なぜなことしたかさ。 （「これはコロナ前の2018年にやったやつです。オンラインでやった内容が載っているもので」の声あり）
山岸委員長	令和3年なら2021だよ。
赤坂委員	21年なら去年でしょ。
藤田委員	県内の35市町村では3人だ。
赤坂委員	参加した人が誰だかもわかんない。移住したい人たちが参加したのだから、役場が参加したんだかさ。事務局が参加しただけではさ。 （「中身ですね」「中身だよな、わかんねえもん」の声あり）
山岸委員長	仙北移住イベント、2021年。こいつはオンラインでやったっていうことだよね。
赤坂委員	やったはいいいけども、どういう内容でやったんだか。 （「担当課わかってんでねえの」の声あり） 参加しましたって書いてるから、参加した人たちのことわかるんでねえの、担当課で。どういう内容でどういう人が参加したか。
山岸委員長	オンラインで2回やって、仙北で12人参加して。

赤坂委員	その結果、どうなったかってさ。やっぱり、そういうのみなね、すじ道立ててわかんねえどだめなのさ。
藤田委員	移住だったらよそのほうから来てるんだっちゃ。よそからこんくせあったということ、違うの。
赤坂委員	地元の人たちだけ見てつかもしれねえし。
前原委員	見えないです、そこは。見に来た人が12人いるっていうことです。内容が参加した人数でなくて、赤坂委員が言うように内容はどうだったか。
山岸委員長	3人に対しては移住相談を実施したと。結果まではわかんないよね。
藤田委員	どっちのほうから来て相談したんだかはわかんないけども。
赤坂委員	相談は実施しました。その結果、1人が移住することを決定しましたとか、決まりましたというならわかるよ。相談を実施しただけでは。
山岸委員長	結局、大体わかりました。オンラインで対面でやっているわけではないんだということね。
赤坂委員	コロナの真っ最中だから、イベントそのものが開かれていないのでオンラインはやむを得ないけどね。ただ、どういう企画をやったのだ、どういう人が参加したのだかね。その結果はどうだったんだか、やっぱそういうのが検証なんだよね。
櫻井委員	休憩して語らせらいんちゃや。会議であめんちゃや、こいづや。常任委員会の会議じゃねがんべっちゃ。
山岸委員長	今、検証ということで、これをやったということの報告みたいなもんだけどね。実施しましたという報告みたいな答えなんだけど。令和2年と3年はコロナの真っ最中なんで対面ではできないし、ただこれも回答としてはやったという報告で、結果が何人それで移住しましたとか、そういうのが入っていないのでわからないんですね。
赤坂委員	だから今、会議中の中で捉えてもらえれば、これやった結果はどうだったのということをやっぱり確認したほうがいいんじゃないですかというのが私の意見、あとは休憩して、もっと言いたいことはいっぱいあるけどもさ。
山岸委員長	今言ったように、結果何人移住したのか、ゼロだったのかと改めて聞いてみます。
赤坂委員	だからね、要はこの流れがわかんないので、こっちは何もこれ以上突っ込みようはないのね。これがいい企画のイベントだったかどうか分析のしようもないのさ。その辺の内容がわかるものがあれば良かったなということ、言ってみれば担当課のほうにその内容わかりますかって聞いてもらうことも必要だと思うの。
山岸委員長	内容わかれば、私のほうから一応聞いておきますからね。
赤坂委員	それがいい結果だったならば、オンラインだろうが何だろうが、こういうイベントは頻繁にやったほうがいいのかとなるわけさ。さっぱり効果なかったよとなつとね、何だや、やったばかりで何にもなんねえでや、とこうなつたら。やればいいってもんでないんで、成果を求めるようなことをやっていかねえど。

山岸委員長	<p>全くそのとおりだと思います。成果を出すためにいろいろイベントや行事をやるわけですからね。そういうことで、結果のこと、私直接一応聞いておきますからね。</p> <p>2) の定住・定着を推進するための組織とは具体的にどのようなものか。また、新たな組織体制におきましては、に対しては、仙北で組織活動を行っている。本町では移住、定住サポートセンター開設などの専門相談員の配置等、新たな設置体制は設けておりませんということなんですけども、なぜ設けてないのかという、必要性を感じないのかどうなのか。その辺、これも私聞いておきますからね。この答えでは答えになっていないと思うんだよね。設けましたかという、だから設けてませんという答えなんでしょうけど。なぜ設けてないのか、なぜしようとならないのかということを一応私から課長さんにお尋ねしておきます。このことについては、皆さんからご意見ございませんか。</p> <p>なければ、次に移ります。次のページです。登米市、栗原市、東松島市では、移住サポート事業助成金、交通費、宿泊費の助成の取り組みをしていますが、美里町はどうなっていますか、に対して、実施していないと。引き続き、検討してまいりますと前回と似たような回答なんですけども、このこともどうしますか。私から課長さんのほうにそういう事業実施とか、検討するってどのように検討してんのか、尋ねてきますか。</p> <p>(「委員長」の声あり)</p> <p>はい、前原委員。</p>
前原委員	<p>これについては、引き続き検討しているってことは、迷っている部分もあるかと思しますので、当委員会の中で他町で行ってます移住体験ツアーとか、お試し住宅等やっている自治体あると思うので、そういう先進地を検証して、研究課題ですね。研修調査を課題といたしまして、当委員会としてまとめる一つの課題ではないかと今私は思いました。以上です。</p>
山岸委員長	<p>もちろん、引き続き検討してまいりますです。検討してますじゃないんだよね、まいりますですね。一応、積極的な文章にはなってますけども。これも私たちの研究テーマの中の課題だと、前原委員言うとおりに思いますんでね。これを一つ、設問の中に入れておくかな。これも一応、課長に聞いておきますか。あの、そこまでしなくていいですか。</p> <p>(「休憩して」の声あり)</p> <p>休憩してした上で提案のほうに、休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時19分 再開 午前10時20分</p>
山岸委員長	<p>再開します。</p> <p>今、1) の移住、定住お試しなどの事業を実施していないということなんで、これらも私たちの常任委員会の中でしっかり研修してですね、より良い提案に繋げていきたい、そんなふうに思います。次に移ります、よろしいですか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>次に、さらに1) 観光資源や特産品等のアピールポイントがまだ弱いと感</p>

	<p>じられますが、そのことについてどう考えていますか。これも町としては、地域おこし協力隊の4人の活動が始まりましたということで、かなり取組に対して期待をされているような内容で、交流人口、関係人口の拡大に繋がっていきたいというふうに回答されております。これはこれで、今年始まったばかりの協力隊員ですから期待をしたいと思いますのですが、これはこれでよろしいですかね。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>次、現時点でSNS、どのような情報発信をしていますか、ということでこれも実際今発信しておりますし、さらに協力隊のSNSでいろいろ報告などを発信しているということなので、これもよろしいですね。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>次に移ります。さらに、住宅補助、子育て支援、企業との連携の具体的内容と現状はどうなっていますか、ということに対しては、令和4年4月27日の常任委員会に提出した別紙の資料のとおりとなっております。ということですが、さらに令和4年度からは医療費助成を15歳から18歳までに拡充しました。あと、小規模保育施設4園及び事業所内保育所1園の施設整備をしたと。だから企業の連携は行っておりませんが、ここがちょっと私も。企業誘致や産業の活性化に取り組み、地域が発展することが移住者の増加または住民の流出抑制に繋がるものと考えています。確かにそのとおりだと思うんですけども、やっぱり企業と連携というのは何年も前から言われていることなんです。民間、いわゆる公営民設とか民設公営だとか、ずっと言われてきながら、全然やってないわけではないと思うんですがね。企業との連携というのは、産業活性化に取り組む、地域が発展すること。確かに今町は、誘致企業に対する補助金を出していますよね。それらも一応取組としてはやっているんだということだと思うんですけども、それが果たして連携なのかどうか。ただ、誘致企業に対する補助金だけは出して何を連携しているのか。官と民が町の発展だとか町のいろんな事業に対する、どういう協力体制がとられ、連携して町づくりに繋がっているのかということが、いまいち私としてはわかりにくいなと思っています。この部分についてはどうですか。例えば、どのような方法があるとか、何かね。一応これも先進地でもいろいろやってると思うんですけどね。</p> <p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時24分 再開 午前10時28分</p>
山岸委員長	<p>再開します。</p> <p>住宅補助、子育て支援、企業の連携ということで皆さんからご意見いただきました。企業内の保育所だとか施設、これはかつて美里町あるいは小牛田町時代にもそういう企業が何か所かあったんです。企業内に若いお母さんたちが働くのに子供を預けるといふ。それが発展して今無認可とかそういうのにどんどん国や県も補助を出して、待機児童がゼロ状態になっている。ただ、それも課題があって、少子高齢化で少しずつ子供が減っている状況もいろいろ</p>

	<p>ろ課題はあるんですけど、今言った企業と町の連携、移住者が住みやすい、流出する人口を減らす、抑制するという考え方からすれば、当然こういうことも必要な施策というかね。これも今度の研修の中での一つの設問の課題として入れていく、よろしいですかね。</p> <p>（「まとめてください」の声あり）</p> <p>わかりました。では、以上ですね。休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時30分</p> <p>再開 午前10時39分</p>
山岸委員長	<p>それでは再開をいたします。</p> <p>次に引き続きですね、質問の、住民の流出を少なくするために具体的にどのような連携、施策の構築をしていますか、に対してですね、各課にわたる横断的な連携や施策の構築は行っておりませんが、各課が総合計画・総合戦略に基づき取り組んでいる各施策を通じて本町が目指す将来像の「心豊かな人材を育み、地域産業が発展し、にぎわいある生き生きとした暮らしができる」まちづくりを進めることにより、住民の定住や流出抑制に繋げてまいります、という回答がきておりますが、これもどうしても何か少し具体性に欠けるかなと私は受け止めましたけども、皆さんからご意見をいただきます。このことについてはどうしますかね。何か意見ありましたら。</p> <p>赤坂委員。</p>
赤坂委員	<p>何年も前からずっと文句同じなのさ。心豊かな人材を育みのとこから始まって、生き生きした暮らしができるまちづくりを進めることにより、とずっとやっているわけさ、美里町になってから。やってねえってことさ。その辺をもっと、こんな決まり文句なんか気にしなくていいから、具体的にやっぱり住みたくなる町はこうしたいという具体的なものにすべきだと思う。毎回こいつを挙げってから、格好はいいんだけど全然進展してねえの。進展してねえから、もっと具体化しなさいということだね。</p>
山岸委員長	<p>赤坂委員から。</p> <p>前原委員。</p>
前原委員	<p>研修の課題ですよ。研修調査の課題だから、その文言を調査研修するのではなくて、例えばですよ。</p> <p>（「文言を」「委員長」の声あり）</p>
山岸委員長	<p>前原委員。</p>
前原委員	<p>各課にわたる横断的な連携をどのように取り組んでいる自治体があるかを研修して、それがどのように生かされているかを調べる必要があるのだなと思います。以上です。</p>
山岸委員長	<p>前原委員おっしゃるとおり、先進地のほうに行く時は横断的な連携と施策の構築はどういう連携を取ってやっているか、進めているかということでの設問というか、そういう形で私たちの研修の内容にしたい、前原委員、そういうことでよろしいんですね。</p> <p>わかりました。そのように皆さん、よろしいですね。</p> <p>（「はい」の声あり）</p>

	<p>次に移ります。質問の、町長の令和4年度の施政方針でも挙げられていましたが、若者向けの施策としてどのようなことを考えていますか、の質問に対して、企画財政課等の関係課とも連携・調整しながら検討を進めてまいります。これも非常に、この内容については皆さん、これを私たちとしてはどのように研修をしたらよろしいんですかね。</p> <p>赤坂委員。</p>
赤坂委員	<p>ほかはまだわかんないけども、とりあえず、今日挙げているところは若者の子育ての対策をかなりやっているようなので、そういう具体的なものをやったりこの町が生かせるものをそこから得る必要があると思うのね。研修の時の題目の中にこれらも含めてやっていきましょう。</p> <p>(「はい、委員長」の声あり)</p>
山岸委員長	<p>前原委員。</p>
前原委員	<p>ということは、今の若者向けの施策っていうのは、調査の対象ではないかと。今の町長の施政方針は調査の対象ではないと。そうじゃなくて、もっと大きく捉えて移住、定住を考える上で今言っていたほかのよその町の部分をもっと調査した方がいいんじゃないか。町長の施政方針ではないと思います。</p> <p>(「そのとおりです」の声あり)</p> <p>なので、ここはいらんんじゃないですか。</p> <p>(「いらなくはないさ、関係してくっから」の声あり)</p>
山岸委員長	<p>いいんです。だから、研修先、先進地では、この一応町長は施政方針として挙げてっけども、結果的に町づくりとして定住、移住とか、若者に向けた住宅施策ということに対しては、研修先ではどのような対応、どういう進め方をされてるかということを知りたいことだね。そういうことでよろしいですよ。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>わかりました。次、第2次美里町総合計画・美里町総合戦略でも定住化促進について触れられていたんですが、取組や現状について担当課としてどのように考えていますか、ってことに対しては、定住促進補助金の交付や空き家バンク、後継者対策に取り組んでおります、という答えになっております。特に過疎地域である南郷地域の活性化、時代を担う若い世代の移住、定住の促進に努めてまいりたいと考えております、という答え。一応前向きな答えではありませんけども、まだどこにも具体性が見えてきません。これについてはいかがですか。皆さんからご意見お伺いします。</p> <p>佐野副委員長。</p>
佐野副委員長	<p>美里町の現状は最後のページの内容で、前々回の資料ですかね。前々回のまちづくり推進課から説明していただいた内容だと思うんですけどね。この内容と研修先の内容がどのような内容か、その辺の課題を持って研修していったらいいのかなと思ってるんですけどもね。</p>
山岸委員長	<p>今、佐野副委員長がおっしゃったとおり、別紙資料に数字が出てますからこれらに基づいて、一応内容がわかると思うんですけども。これらについて</p>

	<p>も町としては実際、定住促進補助金の交付や空き家バンク、後継者対策に取り組んではいるんですけども、その数字としてはここに出てます、後ろの別紙資料にですね。これらが成果として上がってるんだかどうかは、ちょっと私わからないんですけどもね。いいですか、このことについては、よろしいですか。</p> <p>（「いいんでねすか。佐野副委員長言ったとおりでいいんでね」の声あり）</p> <p>いいですね。佐野副委員長のやつでまとめてくださいね。</p> <p>次に移ります。国や県からの補助金とは別に移住支援事業で美里町独自の施策はありますか、に対して、移住支援の施策はありません、という答えでございます。定住促進については補助金あるんだけど、移住支援の施策はありませんという答えなのね。これも前のほうのあれなんだけども、移住の研修だとか旅費だとか、それさも関連してくると思うのさね。これも課題として、施策もちゃんと作って対応すべきじゃないかみたいな、私たちの課題としてね。</p> <p>（「いろいろあんだよ。県とかも」の声あり）</p> <p>県内さ、あんだよね。</p> <p>（「これに乗ってるだけ」の声あり）</p> <p>乗ってるだけ。本町ではまだ施策としてない。これも取組として私たちの研修課題とします、ということでよろしいですか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>一応、これで検証については終わりますけど、よろしいですか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>じゃ、検証については、終了といたします。</p> <p>次に2)の所管事務調査についてということで協議をいたします。皆さんの手元に前回の佐野副委員長が調べてきました千葉県流山市の資料がございます。ただ、ホームページに載ってたんですけども、8月まで流山市は研修を受け入れないと、停止してますということになっています。結果的には流山市に。</p> <p>（「資料、資料」の声あり）</p> <p>資料の皆さんこれ、所管事務調査の候補地ということで、これ佐野副委員長作ってきたのね。</p> <p>（「いや」の声あり）</p> <p>違う、事務局で作っていただきました。まず、千葉県流山市。このとおり、米印のところにホームページ、令和4年8月末まで行政視察受け入れを中止しているということなんですね。ここはまず行けません。次に2)静岡県三島市、人口10万7,835人、世帯数5万35世帯が静岡県三島市です。</p> <p>（「10万人」の声あり）</p> <p>人口10万7,835人、5万35世帯。一応、候補地、先進地としてのね。じゃ、佐野副委員長、ちょっと三島市の内容を説明してもらえ。</p>
佐野副委員長	<p>新幹線が通っているんですね、三島駅というところで。やはり、東京で仕事をしながら通勤ができるということがあって、それでいろいろ移住、定住の</p>



	<p>ご意見聞いて今日中に決定をしたいと思いますので、皆さんからご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>はい、前原委員。</p>
前原委員	3番、4番でいいと思います。
山岸委員長	大分県豊後高田市。
赤坂委員	あと臼杵市とね。同じ大分県でちょっと湾挟んでけつとも、移動もできるようだし、その間には温泉地の湯布院だとかあつけども。どこさ泊まるかは別として、ここ2か所は私もいいと思うんですよ。
前原委員	<p>ならば内陸あるといいな。</p> <p>（「内陸」の声あり）</p> <p>どっかね。ちょっと両方とも港町だからね。</p> <p>（「沿岸部」の声あり）</p> <p>ならばですよ。</p>
山岸委員長	ただ今、赤坂委員と前原委員からは大分県2か所でのろしいんではないかというご意見いただきましたが、藤田委員、櫻井委員、いかがですか。
櫻井委員	いいですよ。
藤田委員	異議なし。
山岸委員長	佐野副委員長もいいですか。
佐野副委員長	いいですよ。
山岸委員長	<p>豊後高田市で一応ここで決定してよろしいですか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>それで、事務局でいろいろ調べてもらったので、内容を皆さんに今日事務局で説明してもらってね。</p>
佐藤主事	<p>臼杵市は資料をお手元に用意してあります。豊後高田市は印刷がちょっと難しいホームページだったので、こちらで紹介させていただきます。移住支援がすごい進んでいるところでして、移住支援サイトというのがありまして、以前、赤坂委員からご紹介あったように、このように住みたい田舎ランキングも10年連続ベスト3ということですので、だいぶ参考になるのではないかなと思います。空き家バンクも写真がすごくわかりやすく載っているので、考えている方にとってはすごく見やすいホームページなのかなと思います。移住の体験談ですとか、あと地域にこういった見どころがありますよという、見やすいホームページになっているので、施策もそうですけど、そういうホームページ作りの観点からしても参考になるのかなと思います。豊後高田市から臼杵市までのアクセスも車ですと1時間くらいですかね。</p> <p>（「1時間半か2時間くらいかかんじゃないか」「山越えが」「国東半島でしょ」「今回2泊3日なんでしょ」の声あり）</p> <p>そうです。</p> <p>（「福岡空港から行くんでしょ」の声あり）</p> <p>そうですね、福岡空港。いろいろ局長のほうで行程を作ってください</p>

	<p>んですけれども、仙台空港から福岡空港まで。  （「直行便ね」の声あり）  直行便が出てますので。  （「あんの」の声あり）  福岡。  （「直行便あんのね」の声あり）  そうですね。福岡空港から博多駅まで地下鉄で行って、博多駅から。  （「豊後高田市」の声あり）  そうですね。宇佐駅というところまで電車で行って、宇佐駅からバスで豊後高田市まで行けるようになっていきますので。  （「1時間半くらいかかる」「何時くらいに着きそうなの」の声あり）  福岡空港を10時30分に出たとして、豊後高田市に着くのが1時39分となっています。  （「2時だけでやわ」「小牛田5時だよね」の声あり）  そうですね。小牛田駅が5時8分発に。  （「電車あんの」の声あり）  はい、電車あります。電車で仙台駅まで行って、仙台駅から空港まで行ってですね。  （「仙台空港に行く時さ、アクセスの火災でさ」の声あり）</p>
櫻井委員	委員長、これはまだあたってないでしょ。
山岸委員長	もちろん、決めてないからでないと。もしかしてだめになっかもって問い合わせできないので、決めてから電話入れるということで。今日決まった時点ですぐ問い合わせしてもらおうようにします。
櫻井委員	何日ごろっていうのも。
山岸委員長	<p>それもこれから決めますね。  （「これから」の声あり）  いつ頃の日だね。  それで一応あと資料、これで見られますけども、皆さんにお諮りします。今皆さんから大分県豊後高田市と臼杵市でいいよと決まりました。それであとは問題なのが、いつ行くか。何月頃がいいのか。  （「まず、先方に聞かねげねえべっちゃ」の声あり）  もちろん、だからこっちで何月頃の何日頃って一応ここで大体決めていただいて、それで相手さ、この頃にお伺いしたいんだってことで一回当たってみないといけないのでそれをまず皆さんで決めていただきたいと思います。</p>
佐野副委員長	教育、民生はいつだっけ。
佐藤主事	<p>教育、民生は7月26日から28日です。  （「7月末だ」の声あり）  そうですね。</p>
山岸委員長	<p>大体同じくらいほうがいいのか。  （「一番暑い時期だ」の声あり）  しようがないね。</p>

	<p>(「休憩のほうが」「これって休憩、再開中」の声あり)</p> <p>休憩じゃ、ありません。</p> <p>(「休憩で進めてください。日程は」の声あり)</p> <p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午前11時 2分</p> <p>再開 午前11時13分</p>
山岸委員長	<p>再開いたします。</p> <p>所管事務調査については、大分県豊後高田市と同じく大分県臼杵市の2か所を所管事務調査に行くことになりました。日程については、7月27日、28日、29日の2泊3日の予定でございます。以上でよろしいですね。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>一応決まりましたので、その他はないんですけども、この間議運の中で決まった今後の議会の予定を皆さんにお知らせしてくれってことだったので、ここでお知らせをさせていただきます。まず、直近の7月1日、金曜日、1時半から女川町生涯学習センターホールで第15回県北地方町議会議員研修会がございます。この日は特別委員会があるという予定です。特別委員会が9時半からで、小委員会で決まるらしいんですけどね。こちらで弁当を食べて、12時頃に町の研修バスで議員全員で出発するという内容で議員研修会が7月1日に女川町でございます。</p> <p>次、もう1件です。町村議会議員講座、これが7月14日、それから7月15日、木曜、金曜と2日間あります。それで7月14日は、これは議長からのご提示で14日に関しては総務、産業、建設常任委員会の皆さんで行ってほしいということです。仮題としては、効率的な一般質問のやり方、講師が早稲田大学マニフエスト研究所、招聘研究員兼ローカルマネージャー、長内紳悟さん。7月15日については、教育、民生のほうで行ってほしいということで、地方議会の政策力をどう強化するか、講師が元衆議院法制局参事、吉田利宏氏です。これが2つ目です。</p> <p>それから3つ目。</p>
櫻井委員	<p>待って、委員長。いまのやつ、全員出席いいかどうか聞いてみらいん。出欠、聞いてみらいん。今の議員講座。</p>
山岸委員長	<p>出欠。</p>
櫻井委員	<p>うん。都合悪い人いなければ、全員だということだから。</p>
山岸委員長	<p>まず、3か所あつから、それからもう1回、出欠聞くからね。</p> <p>あともう1回ございます。8月の22日です。月曜日、午後1時15分から。これは宮城県町村議会議員セミナー。大和町まほろばホール。宮城県内町村議会議員297名参加です。講師は政治アナリストの伊藤惇夫氏、テレビによく出る方ですね。中新田に来て講演で聞いたことがあります。</p> <p>それでまずは7月1日、町村議会、これは女川。常任委員会のここにいる皆さんは全員参加でよろしいですね。どうですか。大丈夫ですか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>全員参加です。次の7月14日の私たち総務、産業、建設常任委員会の研修</p>

については、個人で現地集合、現地解散なんだそうです。これで参加でよろしいですか。

（「はい」の声あり）

いいですね。はい、決まりました。

（「自治会館ね」の声あり）

自治会館、仙台。それから8月22日、これは町の研修バスで行くんだよね。議員派遣なんで、これも全員よろしいですね。

（「はい」「何時からだっけ、1時半だっけか」の声あり）

1時15分からですから、こっちを12時前後に出発ですよ。

（「これはどうすんの」「これももう少し近くなってから」「まだ8月だから」「最初に行く前に皆さんで委員会か何かしてもらえればいいとこもあんだけっとも、今のところまだ未定なので」）

以上が、報告、案内の内容でございます。これで議事はほぼ終わりですけれども、ありますか。

（「ちなみに14日、15日、皆さんに行っていただくのに、ぜひこっち聞きたいって時はそっち行ってもらってかまわないので、その時は事務局に相談してください。あと都合悪くなったも含めて。一応7月1日までの申込なので、議員講座は」「都合つかない場合もあっからね」の声あり）

今、議長から7月14日、15日、どちらにでも一応いいですよということなんで、それだけ議長のほうに私は14日行きます、私は15日にとお話ししてください。これは両方もいいのかね。

（「行きたい人はいいんじゃない」の声あり）

行きたい人はいいのか。勉強熱心な方はどうぞ2日間通ってください。

以上でございますが、何かほかにございませんか。

（「ありません」の声あり）

それでは、第7回総務、産業、建設常任委員会をこれで閉会といたします。

（「すみません。次回はいいいんですか」の声あり）

すみません。次回の会議をいつにするかを決めなくてはいいけませんので。

（「質問内容を決めないどね」「今日まとめたやつを皆さんに提出していただいてこれでいいのかどうなのか」「追加するやつとか」「その時に日程の説明してもらおうとか」「所管事務もな」の声あり）

まず事務局で、今日金曜日なので早速、豊後高田市と臼杵市に問い合わせをしていただきます。そのあと、来週しかわかりませんので、来週すぐ月曜日にわからないと思いますので、2、3日かかると思うので。

（「14、15日あたりにはわかんじゃないの」「そんなに早くする」「いいとか、悪いとかだよ」「受け入れがいいかどうか」の声あり）

受け入れがわかった時点で常任委員会開かなきゃないね。議会が15日。

（「15日まで。14、15日」の声あり）

15日が水曜日だっけ、木曜日。

（「水曜日」の声あり）

水曜日だね。

	<p>(「だから、その週じゃなくてもっと後でもいいと思いますよ」の声あり)</p> <p>20日の週。</p> <p>(「どうしてもと言うなら、16、17日あたり」の声あり)</p> <p>じゃ、27日の週。</p> <p>(「27日、最後の週」の声あり)</p> <p>最後の週、27日の週でいいですか。</p> <p>(「火曜日、だめです」「早割り効かねべっちゃわな」の声あり)</p> <p>了解もらえればすぐ申し込むから、あとは日程と設問する内容を皆さんに精査してもらうから。</p> <p>(「次回はいつがすや」「20日の週あたり」「賛成」の声あり)</p> <p>6月20日の週でいいですか。</p> <p>(「事務局と委員長の都合のいい日」「24日あたりだめがや」「24日は俺だめだ」「だめ、その前は」「22、23日」「22日あたりすか」「6月の22日が監査の予定入ってますので、23日であれば大丈夫です」の声あり)</p> <p>23日、木曜日、よろしいですか。</p> <p>(「待ってください、確認すっから」「6月23日、大丈夫です」の声あり)</p> <p>じゃ、23日、木曜日、9時半で常任委員会第8回を開催します。よろしいですね。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>ほかにございませんか。なければ、これで閉じたいと思います。</p> <p>(「あと、もしものことも考えて、委員長、副委員長、事務局で詰めている調べてみてください」の声あり)</p> <p>第2案。</p> <p>(「市ではなく、町はなかったんですかね」)の声あり</p> <p>北海道はあるんです。北海道沼田町。</p> <p>(「次」の声あり)</p> <p>もし、だめな時はまたすぐに検討しますから。</p> <p>(「第2案だ、第2案」の声あり)</p> <p>第2案ね。もし、大分だめだったら副委員長、委員長で決めますから、決めさせてもらいます。時間的に余裕ないからね。</p> <p>(「お任せします」の声あり)</p> <p>よろしいですね。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>はい、終わります。副委員長、お願いします。</p>
佐野副委員長	<p>本日は第7回の総務、産業、建設常任委員会ということで会議をしていただきまして、7月の所管事務調査の候補地も一応決まりましたので、今後早急はその辺を詰めていきたいと思いますので今後ともよろしく、大変ご苦勞様でございました。</p>
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年6月10日

総務、産業、建設常任委員会

委員長